

令和4年度 事務事業マネジメントシート

事務事業No.		16-	3
事業名	A L T派遣事業	会計 一般	款 10
政策	5 子どもたちの生きる力を育むために	項 1	目 2
施策	5-1 幼児教育・学校教育の充実	係名	

1 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	目的 (対象がどのような状態になっているか)	・英語を使って、積極的にコミュニケーションを図ろうとする意欲をもてるようにする。 ・外国語に関する指導力が向上する。
事業内容	①〔外国語指導助手派遣事業〕園では5歳児を中心に学期に1回程度訪問し、英語に親しむ活動を行う。 小学校では、5、6年生の外国語、または3、4年生の外国語活動を対象に平均1クラス週1時間の授業を英語教育推進教員と綿密な打ち合わせをしながらH32全面実施の学習指導要領に則った授業を行う。中学校では、英語科の指導助手として、全ての学年を対象に平均1クラス週2時間の授業を行う。 ②〔16年一貫教育プラン実践事業〕ALTの協力を得ながら東員学び検定の英語版テキストを作成する。ALTが検定員となり小学校で行う英語検定の4技能のテストを行う予定。		

2 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	指標名	令和3年度	令和4年度	令和5年度	単位	目標方向	令和7年度 (目標)
	1	中学校英語時間数 (週/クラス)	2	2		時間	
2	小学校外国語活動3、4年 (週/クラス)	1	1		時間		1
3	小学校外国語活動5、6年 (週/クラス)	2	2		時間		2
4							
5							
		令和3年度 (決算)		令和4年度 (決算)		令和5年度 (予算)	
全体事業費 (千円) A+B				293	812	2,235	
財源内訳	直接事業費 A			227	680	1,575	
	うち一般財源			227	680	1,575	
人件費 (千円) B				66	132	660	
内訳	一般職員 (人・千円)	0.01	66	0.02	132	0.10	660
	臨時職員 (人・千円)	0	0		0		0

3 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善<※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	B必要性は変わらない	有効性	目標達成度	A達成できた
		町関与の必要性	A町が担うべき	効率性	対象者の適切性	A対象者は適正である
					コストの削減	A削減の余地はない
総合評価	II 継続 (事業内容の現状が最良でこのまま継続すべき)					

(2) 事務事業の業務改善について

①R4年度の改善計画	専科教員等と中学校英語教員とALTが連携しながら、積極的・効果的な活用を進める。とういん英語検定の学習への関わりを進める。	③取組の課題	小学校の外国語 (5.6年)、小学3.4年の外国語活動を、英語専科教員が行っており、言語活動が豊富にある授業を行っているためALTの需要が増している。
②R4年度に実施した取り組み	小中学校の外国語 (英語) の授業に加えて、幼稚園6園でも外国語に触れる活動をALTが行い、幼少期から小学校、中学校へと連続して、外国人との会話に触れる機会を設ける。中学校や卒業後の英語活用を意識した取組を行った。	④今後の改善計画	専科教員等と中学校英語教員とALTが連携しながら、積極的・効果的な活用を進める。とういん英語検定の学習への関わりを進める。